

## 第14回(平成28年度)平塚市少年野球連盟新人大会 大会要項

1. 目的 青少年の健全育成と学童野球の健全な発展を目的として開催します。
2. 主催 平塚市少年野球連盟・平塚市教育委員会。
3. 参加資格 平塚市少年野球連盟に加盟しているチーム。
4. チーム編成 代表者、監督、コーチ(2)、マネージャー、スコアラー、選手20名以内。  
選手は、小学校5年生以下とし、同一小学校区内に在住、在学の児童で  
チーム編成する。部員数が不足するチームは例外を認める。
5. 参加費 1チーム 5,000円(抽選会に納付する)
6. 表彰 優勝チームに賞状と優勝盾を授与する。  
準優勝チームに賞状と準優勝盾を授与する。  
第三位チーム(2チーム)に賞状と第三位盾を授与する。

### 7. 日程及会場・時間

◇抽選会 11月 3日(祝) 17:00 平塚球場会議室  
監督会議 監督と主将が出席。主将はユニフォーム。(背番号10)

◇開会式 11月13日(日) 8:00 平塚球場

◇第1日目 11月13日(日) 1回戦

会場：崇善小学校、八幡子供球場、須賀球場。

第一試合10:00、第二試合12:00、第三試合14:00。

(状況により試合開始時間を繰り上げる場合があります。)

◇第2日目 11月20日(日) 2回戦・準々決勝戦

会場：四之宮スポーツ広場、八幡子供球場、崇善小学校、須賀球場。

第一試合9:00、第二試合11:00、第三試合13:30。

◇第3日目 11月27日(日) 準決勝戦・決勝戦・閉会式

会場：平塚球場

第一試合9:00、第二試合11:15、第三試合13:45

〈平塚球場の準決勝戦は60分前にメンバー表を提出する。〉

閉会式 決勝戦終了後(準備が出来次第開始)

※予備日 11月19日(土)、11月23日(水・祝)、11月26日(土)。  
学校行事のチームには日程調整する。

※この大会は、お母さん方に試合アナウンスをして頂きます。  
(平塚球場の準決勝・決勝戦は球場技術員がアナウンスします。)

※各会場とも、駐車スペースに限りがあります。車輛は4台以内にして下さい。

## 8. 試合運営及びルール(2016)

### (1) 試合会場での待機

前の試合が終了後、速やかにベンチ入り出来るよう、時間に余裕をもって待機のこと。

### (2) 適用ルール

2016年度公認野球規則・J S B B 競技者必携及び大会特別規則とする。  
グラウンドは公認野球規則少年学童部（塁間23m、投一本間16m）を適用する。

### (3) 試合方式

トーナメント方式とする。三位決定戦は行わず、第三位を2チームとする。

### (4) ベンチ

ア) 組み合わせ抽選番号の小さいチームが1塁側、大きいチームが3塁側とする。  
イ) ベンチに入れる人数は、選手20名以内、指導者6名以内とする。

### (5) ユニフォーム及び背番号

ア) 選手及び監督は、同一のユニフォームを着用する。  
イ) 選手の背番号は0～99とし、主将は10を付ける。  
ウ) 監督は背番号30を付ける。コーチが背番号を付けるときは28、29。

### (6) メンバー表の提出と攻守の決定

試合開始予定時刻の30分前にネット裏本部席（平塚球場は審判室）で、メンバー表3部と試合ボール2個を提出し、監督が同席し、主将がジャンケンで攻守を決める。  
平塚球場の準決勝・決勝戦は60分前にメンバー表を提出する。

### (7) シートノック

そのチームのその日の最初の試合のみ行う。後攻チームより各5分間。

### (8) イニング数と試合時間

ア) 7イニング90分とする。90分を過ぎたら新しいイニングに入らない。  
イ) 90分を過ぎたら、5イニング未了でも試合成立とする。

### (9) コールドゲーム

ア) 得点差によるコールドゲームは5イニング終了以降で、7点差とする。  
但し、決勝戦はコールドゲームを適用しない。  
イ) 降雨、日没によるコールドゲームは5イニング終了で試合成立とする。  
なお、5イニング未了の場合は、ノーゲームとし、再試合とする。

### (10) 同点の場合の措置

ア) 7イニング終了、又は90分を過ぎて同点のときは、特別延長戦（無死満塁、継続打順）を行う。（最長2イニングまで）  
イ) 特別延長戦で勝敗が決しないときは、抽選により勝敗を決める。  
ウ) 決勝戦は抽選を行わず。勝敗が決まるまで特別延長戦を繰り返す。

### (11) アピール

アピール出来るのは当該選手と監督とする。

### (12) 投球回数の制限及び変化球の禁止

ア) 投手の投球回数は1日7イニング以内とする。（特別延長戦も含まれる）  
イ) 投手は変化球を投げないこと。

### (13) ファールボールの回収

ファールボールは飛んだベンチ側が回収する。バックネット側は攻撃側が回収する。

### (14) J S B B 公認用具の使用

ア) 試合球はJ S B B 公認C号球とする。金属バットはJ S B B 公認を使用する。  
イ) 打者、次打者、走者、ベースコーチは、J S B B 公認のヘルメットを着用する。  
ウ) 捕手はJ S B B 公認のヘルメット、マスク、プロテクター、レガースを着用する。  
エ) 金属製スパイクは使用出来ない。

### (15) 投手のボークについて

この大会は新人戦であるのでボークについてはペナルティを課さず指導のみとする。